

INTERVIEW



鹿屋市社会福祉協議会  
坂口 和博 さん

誰もが安心して生活できる地域へ

私たちが生活するうえで、共通の願いは「誰もが安心して生活できる地域」だと思います。

現在は公的な制度や民間独自のサービスが整っていますが、すべてに対応できる制度は現実的に難しく、制度の対象外となる人が出てきます。

鹿屋市でも少子高齢化や核家族化が進行しており、年齢にかかわらず地域で孤立する可能性があります。

このような状況を解決しようのは、やはり地域の支え合いではないかと思えます。「地域」というのは、町内会や自治会、最も小さい範囲では「向こう三軒両隣」とあるように、ご近所です。

私は、社会福祉協議会という地域福祉を推進する立場で様々な地域にかかわっていますが、そこでは住民同士の様々な助け合い・支え合いが行われています。例えば、「カーテンの開け閉めができていない」、「洗濯物が干され取り込まれている」など、日常生活上のさりげない見守りや、ゴミ出し、買い物の手伝いなど様々です。

このような支え合い活動は、表面には出てこないだけで、実は日々行われており、それが制度では対応できない問題を解決しているのです。

「誰もが安心して生活できる地域」という理想は高いですが、地域の皆さんとともに考え、一歩ずつ進んでいきたいと思えます。



打馬町内会の高齢男性サロン（ペンキ）で行われた「ななて大会」に参加



ホウ酸団子作り

### ホウ酸団子の配布

年に1回程度「かのごグループ」の呼び掛けで参加者を募り、富ヶ尾中央公民館で、ゴキブリ退治用のホウ酸団子作りが行われます。ホウ酸団子は希望者に配布されます。

### 防災行政無線戸別受信機の確認

町内会では、市の防災行政無線の有用性を折に触れて読き、周知徹底が図られています。

「かのごグループ」は、見守り活動の際に、防災行政無線戸別受信機の使用方法を説明するとともに、電源が入っていないか、確実に作動するかなどの点検も行っています。

### 餅つきの会

毎年12月、公民館に高齢者から子どもまで集まって行われる



餅つきの会

「餅つきの会」では、住民一人当たり餅が2個ずつ配られますが、参加できなかった高齢者の独り暮らし世帯や高齢者のみ世帯には「かのごグループ」と「がんばる会」が安否確認を兼ねて訪問し、餅が届けられます。

### 当番制のごみ収集日立ち会い

町内会では、ごみ収集日の朝に、各ゴミステーションに立つて分別指導等を行う人をそれぞれ全世帯から当番制で決めていきます。町内会独自で作成したごみカレンダーには、その年度分のごみ収集日とともに、立ち会いを担当する人の氏名がすべて記載されており、各家庭に配布されています。分別についての理解はもちろん、住民同士による見守りや交流も意図した取り組みとなっています。

### 町内会単位で行われている「地域福祉活動」組織数

	ふれあいネットワーク活動	サロン活動
鹿屋	15	58
吾平	4	24
串良	5	12
輝北	4	20
合計	28	114

※平成 28年8月31日現在

### ドライブサロン事業

このほか、社協では鹿屋市や町内会と連携し、地域のふれあい・いきいきサロン機能を活用して、高齢者等の交通弱者に対し、買い物等の交通手段の提供による生活支援を行っています。社会福祉法人の全面協力によりバスと運転手が派遣され、無料で利用できます。現在は、北花岡・高隈・大始良の3地区で実施されています。



大始良地区ドライブサロン

富ヶ尾中央町内会には、全員参加を基本に、ユニークな福祉事業が展開されています。その中心的役割を担うのが「富ヶ尾かのごグループ」と「富ヶ尾がんばる会」の2つの組織です。「かのごグループ」は平成25年11月に発足し、メンバーは15人。見守りを行う組織として活動するとともに、サロン活動も行っ

ています。「がんばる会」は平成27年4月に発足。現在メンバーは20人で、メンバーの半分以上は65歳以上の高齢者です。「かのごグループ」と「がんばる会」は、いずれも高齢者の見守り・声掛け活動を行っているほか、次のような活動も行っています。

月1回の見守り活動によって得た情報や要請をもとに、体が不自由な高齢者等宅を訪問し、粗大ゴミの収集から、運搬、分別までを行うもので、「かのごグループ」と「がんばる会」の高グループが、年に3〜4回程度実施しています。活動を通して、利用者の健康状態などの確認も行われ、利用者から大変好評を得ている事業です。

## 富ヶ尾中央町内会（串良町有里） 全員参加を基本にした活動

## 粗大ゴミの収集助け合い事業



富ヶ尾中央町内会会長  
とまり  
泊義秋 さん

INTERVIEW

公民館横の広場には、移住者から移住集落を示す記念碑が建つ

### みんなが安心できる地域に

富ヶ尾中央町内会は、約230年前に甌島からの移住者によってできた集落です。先祖の築いた結束力同様に、全員参加・全員協力を基本として様々な行事への呼び掛けを行っています。また、予算や運営もオープンにして、「見える」町内会活動に努めています。

そのことが地域住民の皆さんに浸透してきたのか、行事に笑顔で参加してくれます。お互いに話しやすい環境にあり、楽しいのだらうと思います。みんなが「いい町内会だ」と思ってくれていると信じています。

2年前前から、富ヶ尾中央公民館の入口付近に「困り事・相談事入れ」という相談箱を設置しました。安心して何でも相談できる町内会でありたいという思いからです。

町内会に暮らす方々みんなが、楽しみも困りごとにも共有できる町内会にしたいですね。



▲困り事・相談事入れ



高齢者宅の庭木伐採

### 樹木伐採や墓地清掃のお手伝い

町内会で行われる奉仕作業の日には、「かのごグループ」と「がんばる会」の熟練者を適所に配置して、高齢者宅の庭木・枝木の伐採、共同墓地の清掃の手伝い等が行われます。



身障高齢者宅でのゴミ搬出作業

## 鹿屋市社会福祉協議会の主な地域福祉事業

今紹介した3町内会をはじめ、他の町内会においても、関係機関の支援を受けながら様々な地域福祉活動を展開しています。このような町内会の地域福祉活動について、鹿屋市社会福祉協議会（☎0994-441-2951）では、次のような支援を行っています。

### 「ふれあいネットワーク活動」支援

独り暮らしの高齢者や障がい者が安心して生活できるように地域住民が協力し合い、地域ぐるみで支え合う仕組みづくりを進めるものです。活動の受け手は地域とのつながりを確認でき、抱い手は地域に役立つという喜びと福祉制度への理解が得られます。地域にとっては、助け合いや援助の輪が広がり、安心・安全なまちづくりの実現が期待できます。

### 「ふれあい・いきいきサロン活動」支援

サロン活動とは、独り暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者など地域住民が、公民館など自宅から歩いていける場所に気軽に集まって、語りやゲームなどを行い、楽しい時間を過ごす場をつくる活動です。